

計画の基本的な考え方

1 基本理念

本市の子ども・子育て支援施策の推進にあたり、目指すべき基本理念を次のとおりとします。

子どもの笑顔を育むまち ねやがわ

子ども期は、人の生涯の中でも最も成長・発達が著しい時期であり、子どもが個性を形成し、社会性を発達させる時期です。子ども・子育てをめぐることは、子どもの数の減少、核家族化、地域の人間関係の希薄化などが、子どもの育ちや親自身の成長を含めた子育てに影響を及ぼし、子どもの心身の成長発達上の問題や親の育児不安、ストレスなどにつながる恐れがあります。

次代を担う子どもたちの健やかな育ちと子育てを支えることは、ひとりひとりの子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、持続可能な社会の成長ならびに活力のある地域づくりに欠かせないことです。

保護者が子育てに対しての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭、保育所、幼稚園、認定こども園、学校、地域、職場などの社会のあらゆる分野における人々が相互協力して、子どもの最善の利益の尊重と心身の健やかな成長を支える必要があります。

すべての子どもが、愛情豊かな人間関係のなかで、笑顔で健やかに成長し、将来に向けての夢と希望を描けるまちづくりをめざします。